

坂町 Can-do リスト

		第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
聞く Can-do		<p>ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活の身近な話題を聞いて、情報を聞き取ることができる。 (Program2, 4, 9 be 動詞 複数形 進行形 イ)</p>	<p>ゆっくりはっきりと話されれば、外国についての短い説明を聞いて、情報を聞き取ることができる。 (Program11 受動態 イ)</p>	<p>自然な口調であってもはっきり話されれば、短いスピーチを聞いて、要点を聞き取ることができる。(Program7 関係代名詞 オ)</p>
		<p>簡単な質問を聞いて、適切に反応することができる。 (Program7 疑問詞 ウ)</p>	<p>依頼文を聞いて、適切に動くことができる。 (Power Up S2 Will you~? ウ)</p>	<p>相手の意図をくみ取って、直接的な依頼でなくても、それに応じて動くことができる。 (Program3 不定詞 ウ)</p>
話す Can-do	発表	<p>あらかじめ話すことをメモなどで準備すれば、簡単な語や基礎的な表現を使って、身近な人のことについて正しく伝えることができる。 (Program5, 6 3人称表現 イ)</p>	<p>あらかじめ話すことをメモなどで準備すれば、自分の夢について、順序よくスピーチをすることができる。 (Program6 不定詞 オ)</p> <p>ポスターや図表などを見て、簡単な語句や文を使って、自分の感想や考えを述べることができる。 (Program9, 10 比較 ウ)</p>	<p>あらかじめ話すことをメモなどで準備すれば、与えられたテーマについて（身近な物について）、大切なことを分かりやすく順序よくスピーチすることができる。 (Program1, 6 受動態 後置修飾 オ)</p>
	やりとり	<p>自分の得意なことについて、相づちを打つなどしながら即興で短い会話をするができる。 (Program8 助動詞 can エ)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>簡単な表現を使って聞き返したり、身振り手振りや習った表現を使って自分の考えを伝えることができる。(エ)</p> </div>	<p>自分にとって特別な人やものについて、つなぎ言葉を使うなどして会話を継続することができる。 (Program11 受動態 エ)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>相手に聞き返したり、相づちをうったりしながら話を続けることができる。(エ)</p> </div>	<p>行ったことがある場所などについて、つなぎ言葉を使ったり、相づちをうったり、相手に詳しい説明を求めたりして会話を継続したり発展させたりすることができる。 (Program2 現在完了 エ)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>相手に聞き返したり、知らない表現については言い換えたりしながら、話を続けることができる。(エ)</p> </div>
読む Can-do		<p>所見の英文を自分の力で読み進め、大意を把握することができる。 (Program7 代名詞 ウ)</p>	<p>習った表現を用いて書かれていれば、説明文の要点を読み取ることができる。 (Program1, 3, 4, 8 過去形 助動詞 ウ)</p>	<p>習った表現を用いて書かれていれば、物語文のあらすじや説明文の要点を読み取ることができる。(Program4 ウ)</p>
		<p>物語を読んで、あらすじを読み取ることができる。 (Program11 過去形 エ)</p>	<p>習った表現を用いて書かれていれば、説明文に対して、日本語で感想を述べるよう内容をとらえることができる。(Program5 接続詞 オ)</p>	<p>習った表現を用いて書かれていれば、意見文に対して、日本語で感想を述べたり賛否やその理由を示したりするよう内容をとらえることができる。(Program2, 7 現在完了, 関係代名詞 オ)</p>
書く Can-do		<p>語と語のつながりに注意して、自分のことや他者のことについて書くことができる。 (Program 1, 3, 8, 10 一般動詞 can 過去形イ, エ)</p>	<p>旅行や行事の体験などについて、自分の考えや気持ちなどを含めながら順序よくまとまりのある文章で書くことができる。(Program2, 6, 未来形 不定詞 エ)</p>	<p>中学校生活や身近な人について、接続詞や副詞、代名詞などを適切に用いて、まとまりのある文章を書くことができる。 (Power-up6 関係代名詞 後置修飾 オ)</p>
			<p>説明文を読んで、I think などの表現を使って、感想などを書くことができる。(Program7, 11 動名詞 受身形 ウ)</p>	<p>意見文を読んで、I think, I agree, because などの表現を使って、感想、賛否やその理由を書くことができる。(Program8 関係代名詞 ウ)</p>